

(目次) 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	団体コード	市区町村名	プロジェクト名称	プロジェクトの目的、概要 及び 具体的な成果目標	プロジェクト 期間	具体的な事業・施策(名称)	具体的な事業・施策 (事業概要)	事業費 (計画全体) (単位:千円)	事業費 (平成21年度) (単位:千円)	政策分野 の分類 (①~⑩)	新規・継続 の区分
長野県	204102	根羽村	根羽村定住促進プロジェクト	(目的、概要) 住宅整備や持ち家を取得できる仕組みを整備していく。また、空き家を利活用し、定住のきっかけづくりを行う。 (具体的な成果目標) 定住促進住宅0棟(H18末)→2棟(H23) Iターン者住宅1棟(H18末)→8棟(H23) 空き家登録貸付1軒(H18末)→6軒(H23)	H19~H23	若者定住住宅整備	若い世帯向けの住宅を整備する	120,000		⑤	継続
						Iターン者住宅整備応援事業	Iターン者向けの住宅を整備する	16,000			
						空き家貸付事業	村内の空き家について、貸付を行っても良い物を調査し、希望者に情報提供する。	10,000			
						総 計		146,000			
							http://www.nebamura.jp/page046.html				
長野県	204102	根羽村	根羽村トータル林業システムの構築	(目的、概要) 森林の管理から木材生産までの林業の仕組みを連携させる体制づくりを推進する。 (具体的な成果目標) 間伐実施面積50ha(H18)→400ha(H23) 製材加工品売上高215百万円(H18)→250百万円(H23)	H19~H23	木材生産体制整備事業	造林事業、林道整備等を実施し、木材生産の増加を促進する。	798,500	3,877	②	継続
						木材加工体制整備事業	高性能林業機械を整備し、効率的に柱材や床材の生産拡大を図る。	289,000			
						販売体制強化事業	製品の販売促進を図る。	15,000	1,200		
						総 計		1,102,500	5,077		
							http://www.nebamura.jp/page046.html				
長野県	204102	根羽村	都市農村交流プロジェクト	(目的、概要) 企業と連携した森林づくりや都市住民とのグリーンツーリズムの実施、スローライフの提唱等、様々な交流形態を通して都市との共生・対流を図っていく。 (具体的な成果目標) 年間体験交流人口7,200人(H18)→14,000人(H23) 一般観光客197千人(H18)→230千人(H23) 森林インストラクター0人(H18)→5人(H23)	H19~H23	森林の親里制度	企業と連携した森林づくりを行う。	15,000		⑥	継続
						田舎の親戚制度	地元住民の農地等を通して、農業体験などを都市住民に提供し、交流人口増を図る。	20,000			
						山村インストラクターとしての職業確立プラン	山里の魅力を伝える森林インストラクターを養成し、都市住民との交流を図る。	5,000			
						総 計		40,000			
							http://www.nebamura.jp/page046.html				
長野県	204102	根羽村	緑の生活環境活用プロジェクト	(目的、概要) 当村のスギ・ヒノキ等の地域資源を再利用しての森林利用を進め、また、森林の持つ癒しを多くの皆さんに提供していく。 (具体的な成果目標) 木質バイオマス利用材積 ヘレット0t(H18)→50t(H23) 原木材積0m³(H18)→164m³(H23) 緩衝帯整備1ha(H18)→15ha(H23) 森林セビニストの養成0名→5名 癒しの森林整備0箇所(H18)→2箇所(H23)	H19~H23	木質バイオマス利用推進事業	地元材の有効利用を図るため、間伐材等のバイオマス利用を推進する。	14,000		⑩	継続
						有害鳥獣対策事業	カモガヤや日本シカの食害を防ぎ、木材の生産拡大を図る。	20,000	2,435		
						森の癒しと森林体験プラン整備事業	森林資源を活かした癒しの森を整備し、森林体験を提供していく。	15,000			
						総 計		49,000	2,435		
							http://www.nebamura.jp/page046.html				
長野県	204102	根羽村	公共交通再生プロジェクト	(目的、概要) 他の自治体と共同でコミュニティバスの運行と、村内巡回バスの運行を行い住民の利便性の向上を図る。 (具体的な成果目標) 他の自治体と共同でコミュニティバスの運行と、村内巡回バスの運行を行い住民の利便性の向上を図る。 利用者数13,000人(H18)→20,000人(H23)	H19~H21	西部コミュニティバス運行	根羽～阿智の交通の利便性確保のため根羽村、平谷村、阿智村、清内路村でバスを運行を継続していく。	9,000	3,908	⑦	継続
						稲武バス運行	根羽～豊田市(旧稻武町)の交通の利便性確保のため、稲武バスの乗り入れを継続していく。	2,700	1,240		
						福祉バス運行	村内巡回バスの委託を行い、交通弱者の社会活動拡大を図る。	6,552	2,184		
						総 計		18,252	7,332		
							http://www.nebamura.jp/page046.html				
長野県	204102	根羽村	子育て支援プロジェクト	(目的、概要) 子育て世代の負担軽減を図り、少子化に歯止めをかける。	H19~H21	未満児保育	子育て世代の負担軽減のため、未満児保育、延長保育を行つ。	12,315	1,740	③	継続
						出産祝金等支給	子どもが生まれた世帯に、祝い金を支給する。	8,600	2,250		

				(具体的な成果目標) 0歳から14歳までの構成比9.65%(H19.4)→10%(H23末)		子育て支援施設整備	幼児が遊べる遊具等を整備し、子育て世代の交流を図る。	2,000			
						総 計		22,915	3,990		
http://www.nebamura.jp/page046.html											
長野県 204102	根羽村	山村留学プロジェクト	(目的、概要) 山村留学制度を導入し、生徒数の増加を図る。 (具体的な成果目標) 中学生の山村留学生0人(H18末)→10人(H23末)	H19～H21	山村留学	山村留学生の受け入れを行う。	15,000	115	③	継続	
					総 計		15,000	115			
						http://www.nebamura.jp/page046.html					
長野県 204102	根羽村	災害に強い地域づくりプロジェクト	(目的、概要) 大規模災害対策のため、情報通信環境の向上や公共施設の耐震化を図る。 (具体的な成果目標) 公共施設の耐震化診断等実施施設 0施設(H19末)→2施設(H23末) 庁舎内電話使用可能回線数 24回線(H20末)→32回線(H21末)	H20～H23	同報無線デジタル化	親草のデジタル化を行い、災害時の情報伝達の向上を図る。	10,000		⑨	継続	
					公共施設の耐震化対策	古い公共施設の耐震化診断および耐震化対策を実施し、防災対策の推進を図る。	10,000				
					総 計		20,000				
						http://www.nebamura.jp/page046.html					
長野県 204102	根羽村	特産品振興プロジェクト	(目的、概要) 特産品開発、販路拡大に取り組み、地場産業の育成を図る。 (具体的な成果目標) ネバーランドの売上高 229百万円(H19)→250百万円(H23)	H20～H23	ネバーランド施設改修	ネバーランドの施設改修を行い、新商品の開発、販路拡大を図る。	20,000		②	継続	
					杉つ子餅施設改修	新たに県内産小麦を使用したパン製品の開発を行ふための施設改修を実施する。	2,000				
					総 計		22,000				
						http://www.nebamura.jp/page046.html					
長野県 204102	根羽村	ホタルの郷再生プロジェクト	(目的、概要) 数十年前には夏になるとホタルの乱舞が見られたが、最近ではほとんど見られなくなってしまったため、環境保全を行いつつ、ホタルが飛び交う郷づくりにより地域振興を図る。 (具体的な成果目標) H23までにホタルに関する会を組織し、村民との協働によりホタルの郷づくりの活動を開始する。	H20～H23	ホタル育成環境整備	ホタルと餌となるカワニナが育成できる環境を整えるとともに、ホタルおよびカワニナの増殖を図る。	2,500	81	⑩	継続	
					総 計		2,500	81			
						http://www.nebamura.jp/page046.html					
長野県 204102	根羽村	電子自治体推進プロジェクト	(目的、概要) 戸籍の電算化や公共施設を結ぶ高速インターネット網の構築を行い、電子自治体を推進する。 (具体的な成果目標) 平成23年度までに戸籍の電算化によるサービスを行う。平成21年度までに公共施設を結ぶ高速インターネット網を整備する。 インターネット接続可能な端末 1台(H20末)→5台(H21末)	H20～H23	戸籍の電算化	戸籍の電算化実施	30,608	30,608	①	継続	
					高速インターネット網整備	小学校、中学校、保育所、役場を結ぶ、高速インターネット網を整備する。	1,000				
					総 計		31,608	30,608			
						http://www.nebamura.jp/page046.html					

※1 「プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標」、「具体的事業・施策（事業概要）」欄は、個票から適宜要約してください。

※2 「プロジェクトの期間」欄は、プロジェクトを構成する事業・施策の計画年度をもとに記入してください。

※3 「政策分野の分類」欄には、以下の1～11のいずれか1つを記入してください。なお、複数の政策分野に重複すると考えられる場合は、各地方公共団体の判断により、最も近いものを記入してください。

1 地域経営改革プロジェクト、2 地場産品発掘・ブランド化プロジェクト、3 少子化対策プロジェクト、4 企業立地促進プロジェクト、5 定住促進プロジェクト、6 観光振興・交流プロジェクト、

7 まちなか再生プロジェクト、8 若者自立支援プロジェクト、9 安心・安全なまちづくりプロジェクト、10 環境保全プロジェクト、11 その他

なお、「丸付き数字」等は用いず、「半角数字のみ」を記入してください。

※4 「事業費」欄は、総事業費を記入してください。

※5 「団体コード」欄には、6桁の地方公共団体コードを半角数字で記入してください。

※6 「新規・継続の区分」欄は、平成19、20年度に応募したプロジェクトの継続であるものについては「継続」に、平成21年度に新たに応募するプロジェクトについては「新規」にそれぞれ分類してください。

なお、平成19、20年度に応募したプロジェクトの変更、追加、分割等を行った場合においては、おおむね以下の例を参考として、各地方公共団体の判断により、「継続」又は「新規」に分類してください。また、「新規」の場合、応募する前に、その内容を住民に公表してください。

〈分類例〉

(1) 事業費の変更 → 「継続」

(2) 成果指標や事業・施策等の軽微な変更 → 「継続」

(3) プロジェクト名の変更 → 成果指標や事業・施策等の実質的変更を伴う場合は、住民に公表した上で「新規」とし、その他のものは「継続」

(4) プロジェクトの分割 → 成果指標や具体的な事業・施策等の実質的変更を伴う場合は住民に公表した上で「新規」とし、その他のものは「継続」

※7 「ホームページアドレス（ある場合のみ）」の文字は削除した上で、ホームページアドレスを記入してください。

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	根羽村定住促進プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 現在村内にはU・Iターン者が140名余生活している。年齢的にも20歳から40歳代の若い世代が多いのが特徴である。今後、U・Iターン者の皆さんのが村内に定住するためには、安定した職場環境と、安心して生活できる住環境の整備が必須である。このため、住宅整備の推進や、Iターン者が気楽に持ち家を取得できる仕組みを整備していくことが必要である。また、村内の空き家を利活用し、週末を村内で生活する都市住民の方が将来的に村への定住を図れるきっかけづくりを行っていく。こうした様々な住環境整備を行うことにより、村内への定住促進を図っていく。</p> <p>(具体的な成果目標) 定住促進住宅 0棟(H18末)→2棟(集合住宅)(H23) Iターン者住宅 1棟(H18末)→8棟(H23) 空き家登録貸付 1軒(H18末)→6軒(H23)</p>		
プロジェクトの期間	H19～H23	政策分野の分類 (①～⑪)	⑤定住促進プロジェクト
住民への公表の方法(ホームページ等)	http://www.nebamura.jp/page046.html		

プロジェクトを構成する具体的事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位:千円) (うちH21事業費)
若者定住住宅整備	ここ数年で村内のU・Iターン者は140名余であり、村営住宅は常に満杯な状況にある。このため、U・Iターンを希望する若者用の住宅を建設し、住環境の整備を行うことにより定住化を促進していく。	120,000
Iターン者住宅整備応援事業	現在村ではIターン者の定住を応援するため、宅地を整備し賃貸宅地として提供している。村では「根羽スギ住宅」を推進しており、Iターン者がこの賃貸宅地に「根羽スギ住宅」を建設する場合に、構造材(柱・梁等)をプレゼントし定住促進の応援を行うものである。	16,000
空き家貸付事業	村内にある空き家を、週末等を利用して農業体験や林業体験に訪れる都市住民に提供し、交流促進と農林家所得の向上を図っていきたい。このため、空き家受け入れシステムの確立と、生活できる最低条件(風呂・台所・トイレ等)の整備をし利活用を図って行く。	10,000
総 計		146,000 0

その他特記事項

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
プロジェクト名	根羽村トータル林業システムの構築事業	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 当村は、全村民が山林所有者であると同時に森林組合員でもある。こうした中で、古くから林業に対して熱心に取り組みを進めてきている。林野率92%のうち人工林が75%を占め、スギ・ヒノキを中心とした資源に恵まれている。近年は「根羽スギ」「根羽ヒノキ」として、住宅用材としての利用が活発となってきている。当村では、森林整備を進めると同時に、資源としての木材に付加価値を高めることによって林家収入の向上を図り、地域産業として定着できる仕組みづくりを進めている。森林の管理から木材生産までの1次産業、製材加工を行う2次産業、製品を販売する3次産業までの林業の仕組みを連携させることができ地域産業として発展させる最良の方法であり、この一貫した体制を「根羽村トータル林業システム」と位置づけ、その体制づくりを確立することが地域が生き残る方策であると確信し、本プロジェクトを積極的に推進していくものである。</p> <p>(具体的な成果目標) 間伐実施面積 350ha(H18)→400ha(H23) 製材加工品売上高 215百万円(H18)→250百万円(H23)</p>		
プロジェクトの期間	H19～H23	政策分野の分類 (①～⑪)	②地場産品発掘・ブランド化プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		
プロジェクトを構成する具体的事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
木材生産体制整備事業	木材の搬出コストの軽減を図ることにより、森林の利用間伐を進め、材に付加価値を高めることによって林家収入の増加を図る。このため、林道網の整備3路線・高性能林業機械の導入（ラジキャリー、フォワーダ、タワーヤーダ、プロセッサー）を図る。	798,500 (3,877)	
木材加工体制整備事業	現在加工部門で課題となっているのが、乾燥施設の整備強化が必須となっている。このため、乾燥機の導入と乾燥後の材料保管庫の整備、住宅用材の梁・桁加工用のモルダー、小割用プレナーギヤングリッパーの導入を図る。また、木材ストック用の土場及び管理棟の整備を図る。	289,000	
販売体制強化事業	木材生産林家・森林組合・設計事務所・施主までの家を安心して作れるシステムを現在確立し実施しているが、森林の適切な管理、持続可能な森林経営、適切な製材品管理を行うため、第三者による「森林認証」を受けるとともに、森林組合をはじめ森林関係者が適切な製材品を供給していることを認定する「認証林產物流通事業体認定」の2種類の認定を取得し、販売体制の強化を図る。また、「根羽スギ」住宅の普及促進を図るために、「根羽スギ」住宅建設者に柱の無償提供事業を実施する。	15,000 (1,200)	
	総 計	1,102,500 (5,077)	
その他特記事項			

様式1

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
プロジェクト名	都市農村交流プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 近年、国民の志向がモノの豊かさから心の豊かさへと大きく変化してきている。こうした中で、地域資源を活用した都市住民との交流が当村の地域づくりの重要なポイントとなってきている。当村では恵まれた森林を活用しながら企業との連携した森林づくりや、地域住民と都市住民との交流連携によるグリーンツーリズムの実施や、スローライフの提唱等様々な交流形態を通して「都市との共生・対流」を図っている。こうした交流により、多くの「根羽村ファン」を獲得しながら協働して地域づくりを推進していくものである。 (具体的な成果目標) 年間体験交流人口 7,200人(H18)→14,000人(H23) 一般観光客 197千人(H18)→230千人(H23) 森林インストラクター 0人(H18)→5人(H23)		
プロジェクトの期間	H19～H23	政策分野の分類 (①～⑪)	⑥観光振興・交流プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		
プロジェクトを構成する具体的な事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
森林の里親制度	企業の皆さんに森林の里親になってもらい、森林管理に積極的に関与してもらう。企業は森林整備に対して資金や労働力を提供し、山村は様々な体験や交流メニューを提供していく。こうした協働した活動を通して、森林は持続可能な社会を支える社会全体の共有財産としての管理体制を進める。 (各種体験・交流事業の実施)	15,000	
田舎の親戚制度	農林家の方が都市住民の方々と、山村での様々な体験を教えてり、交流を行う中で新たな親戚関係を結ぶ。このことにより農林家は自らの土地を活用し指導等することにより収入増のきっかけとなり、一方山村の魅力を味わったり住みたいといった人の定住促進を図っていく。 (体験農園等の整備・農家民泊の体制整備・空き家利用)	20,000	
山村インストラクターとしての職業確立プラン	大学等との連携により「自然体験学習ツーリズム」のプラン作成や実践を通して、女性による山村インストラクター等の職業確立を行い、女性の定住化を図っていく。女性が安心して働く職場の確立が住民の定住に結びつくものであり、地域資源である山村そのもののインストラクターとしての職業を確立するものである。	5,000	
	総 計	40,000 0	
その他特記事項			

様式1

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
プロジェクト名	緑の生活環境活用プロジェクト事業	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要)</p> <p>当村は林野率が92%であり、森林の多様な機能の発揮が期待されているところである。現在京都議定書の発効等環境に対する森林の役割が大きく呼ばれている。当村にあってもスギ・ヒノキを中心とする資源が豊富であり、環境負荷が少なく地域資源の再利用としての森林利用を進めていく。また、森林の持つ癒しを多くの皆さんに提供し、豊かな生活環境を提供する。また、動物の人間との共存できる生活環境整備を進めることができ、快適な住環境を整備することに直結するものである。様々な地域資源を活用しながら、地域資源の循環システムの構築を推進し新たな地域産業として定着させていく。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <p>木質バイオマス利用材積 ペレット0t (H18)→50t (ストーブ50台) (H23) 原木材積 0t (H18)→164t (H23) 緩衝帯整備 3ha (H18)→15ha (H23) 森林セラピニストの養成 0名 (H18)→5名 (H23) 癒しの森林整備 0箇所 (H18)→2箇所 (H23)</p>		
プロジェクトの期間	H19～H23	政策分野の分類 (①～⑪)	⑩環境保全プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		
プロジェクトを構成する具体的事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
木質バイオマス利用推進事業	森林整備により伐採された木材や、製材工場で派生する端材やオガ粉をペレットに加工し、村内に設置されたペレットストーブやボイラーで利用することにより、環境に負荷をかけることなく、地産地消のエコロジー資源として地域循環の仕組みを構築するものである。 (建物・オガ粉製造機械・簡易ペレット製造機械)	14,000	
有害鳥獣対策事業	近年農林産物への鳥獣害被害が深刻となっており、農林家の生産意欲が減退しつつある。被害防除の方策として有害鳥獣駆除対策を実施するとともに、人間と動物が共存できる環境をつくることも同時に実施していく。特に林地と農地を緩衝帯を整備することにより動物が出没しにくい環境整備も進めて行くものである。	20,000 (2,435)	
森の癒しと森林体験プラン整備事業	森林の持つ癒し効果を最大限活用し、メニューのプログラム化を行い、交流人口の増加を図るとともに、新たな産業としての位置づけを確立する。 体験メニューのプログラム化・森林セラピニストの養成インストラクターの養成・歩道整備や滝の飛沫浴等現場整備	15,000	
総 計			49,000 (2,435)
その他特記事項			

様式1

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
プロジェクト名	公共交通再生プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 当村では民間の運営による路線バス等の公共交通機関が無い状況である。こうしたことから、他の自治体と共同でコミュニティーバスの運行を行っており、高校生の通学はもちろん、高齢者等の足として交通の利便性の向上を図っていく。 また、村内の巡回バスも運行し、高齢者等の地域活動の場を広げていく。</p> <p>(具体的な成果目標) 利用者数13,000人(H18) → 20,000人(H23)</p>		
プロジェクトの期間	H19～H21	政策分野の分類 (①～⑪)	⑦まちなか再生プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		
プロジェクトを構成する具体的な事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
西部コミュニティーバス運行	根羽村から阿智村までを結ぶコミュニティーバスを、根羽村、平谷村、阿智村、清内路村が共同で運行する。	9,000 (3,908)	
稻武バス運行	豊田市（旧稻武町）と根羽村を結ぶバスを、豊田市と根羽村が共同で運行する。	2,700 (1,240)	
福祉バス運行事業	村内を巡回するバスを、民間業者に委託して運行する。	6,552 (2,184)	
	総 計	18,252 (7,332)	
その他特記事項			

様式1

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
プロジェクト名	子育て支援プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 当村の平成19年4月末現在における0歳から14歳までの構成比は9.65%と低い値であり、少子化が進行している。このため、子育て世代の負担軽減を図り少子化に歯止めをかけるため、未満児保育の受け入れや中学生までの医療費を無料化する等の施策を実施する。 (具体的な成果目標) 0歳～14歳までの構成比10% (H23末)		
プロジェクトの期間	H19～H21	政策分野の分類 (①～⑪)	③少子化対策プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		
プロジェクトを構成する具体的な事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
未満児保育	未満児保育を受け入れ、子育ての負担軽減を図る。	12,315 (1,740)	
出産祝金等支給	結婚祝金、出産祝金を支給し、また中学生までの医療費を無料化することにより、子育て世代の経済的な支援を行う。	8,600 (2,250)	
子育て支援施設整備	幼児が安全に遊ぶことが出来る遊具等を整備し、子育て世代が子どもを遊ばせながら交流が出来るような場を設ける。	2,000	
	総 計	22,915 (3,990)	
その他特記事項			

様式1

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
プロジェクト名	山村留学プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 当村には小学校と中学校が各1校あるが、平成19年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生が52名で中学生が23名と小規模校である。将来推計をしてみても、中学生については複式学級にはならないと見込まれるが、1学級が7名と少ない状況であり、山村留学制度を導入して生徒数の増加を図っていく。</p> <p>(具体的な成果目標) 中学生の山村留学生 0人(H18) → 10人(H23)</p>		
プロジェクトの期間	H19～H21	政策分野の分類 (①～⑪)	③少子化対策プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		
プロジェクトを構成する具体的な事業・施策			
名称	事業概要		総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)
山村留学	先進地の研究を行い受け入れ体制の構築を確立すると共に、既存の宿泊施設の改修と指導者の雇用を行い、山村留学生の受入を図る。		15,000 (115)
	総 計		15,000 (115)
その他特記事項			

様式1

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
プロジェクト名	災害に強い地域づくりプロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) アナログ方式の同報無線のデジタル化図り、大規模災害時に情報伝達を密にして、的確な情報を把握する。 また、古い公共施設については、耐震化診断および耐震化改修を行い、住民の生命等を守る。</p> <p>(具体的な成果目標) 公共施設の耐震化診断実施 0 施設(H19末)→2 施設(H23末)</p>		
プロジェクトの期間	H20～H23	政策分野の分類 (①～⑪)	⑨安心・安全なまちづくりプロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		
プロジェクトを構成する具体的な事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
同報無線のデジタル化	親卓のデジタル化を行う。	10,000	
公共施設耐震化対策	古い公共施設の耐震化診断およびその診断に基づいた耐震化対策を実施する。	10,000	
		20,000	
	総 計	0	
その他特記事項			

様式1

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
プロジェクト名	特産品振興プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 地域の特産品の製造販売を行っている団体に、新商品の開発、商品の販路拡大などに 対して支援し、地場産業の振興を図る。</p> <p>(具体的な成果目標) 「ねばーランド」の売上高 229百万円(H19)→250百万円(H23) 県内産小麦を使ったパン製品の商品化(H23)</p>		
プロジェクトの期間	H20～H23	政策分野の分類 (①～⑪)	②地場産品発掘・ブランド化プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		
プロジェクトを構成する具体的な事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
ねばーランド施設改修	施設改修により、新しい特産品の開発、販路拡大を推進するとともに都市から訪れる来客の増加を図る。	20,000	
杉っ子餅施設改修	新たに県内産小麦を使用したパン製品の開発を行うため、貸し付けている施設の改修を実施する。	2,000	
		22,000	
	総 計	0	
その他特記事項			

樣式 1

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	ホタルの郷再生プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	(目的、概要) 数十年前までは、夏になるとホタルが乱舞する風景が見られたが、最近ではほとんど見られなくなってしまった。 以前のようにホタルが育つ環境を整え、ホタルが飛び交う田園風景を醸し出すことより地域振興を図る。 (具体的な成果目標) 平成23年度までにホタル育成に関する会を組織し、近隣の同様の組織と交流する中で、村民との協働によりホタルの郷づくりの活動を開始する。		
プロジェクトの期間	H20～H23	政策分野の分類 (①～⑪)	⑩環境保全プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページ等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		

プロジェクトを構成する具体的な事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位:千円) (うちH21事業費)
ホタル育成環境整備	ホタルとホタルの餌となるカワニナが育成できる環境を整えるとともに、ホタル及びカワニナの増殖を図る。	2,500 (81)
総 計		2,500 (81)

その他特記事項

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	長野県	市町村名	根羽村
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	電子自治体推進プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 下伊那郡で戸籍の電算化を実施していない自治体は、当村を含め2村のみである。また、村内の公共施設を結ぶインターネット網は、ISDNであり通信速度が遅く、非常に非効率な状況である。このような中で、戸籍の電算化や高速インターネット網の整備を行い、電子自治体の推進を図る。</p> <p>(具体的な成果目標) 平成23年度までに戸籍の電算化を行い、電算化による業務開始を目指す。 平成21年度までに高速インターネット網を整備する。</p>		
プロジェクトの期間	H20～H23	政策分野の分類 (①～⑪)	①地域経営改革プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	http://www.nebamura.jp/page046.html		

プロジェクトを構成する具体的な事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)
戸籍の電算化	戸籍の電算化を実施する。	30,608 (30,608)
高速インターネット網整備	小学校、中学校、保育所、役場を結ぶ、高速インターネット網を構築する。	1,000
	総計	31,608 (30,608)

その他特記事項

--